

障がいのある方の雇用に取り組む

英興株式会社

(京都市伏見区)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】石英ガラス加工、半導体関連製品販売等
【障がいのある方の主な仕事】ガラス管の切断・加工など



【障がい者雇用の経緯】

障がい者雇用は、20年程前の聴覚障がい者の雇用から始まりました。「障がいのある方は、その障がいの部位による違いはあるものの、働く意欲は他の者となんら劣ることはない」との認識から業務を洗い出し、ハンディキャップを克服しえる業務について、ハローワーク等の協力を得て雇用を始めました。

【定着の取組の中で】

雇用当初はなかなか定着にいたらず、ろう学校の先生と相談し、手話通訳者の派遣や専門用語の伝え方の改善など様々な工夫を重ねました。その経験から、一番大切なことは、周囲や職場の理解であり、特別なことではなく、人を大切にする、との認識に至りました。社内のいろいろな場で、同じ働く仲間であり、ハンディキャップは協力により補うという組織風土づくりを呼びかけました。また、処遇面も同じ社員ということで同一にしています。

現在、身体障がいのある方3名と知的障がいのある方1名が働いています。それぞれがグループに所属し、互いに補い合う風土の中で、仕事を通して教え合うことで、重要な戦力となっています。

(簡単な手話や指文字が
掲示されていました)



【Nさんに聞きました】

12年目です。聴覚障がい者です。覚えるのは大変ですが、繰り返しの仕事ではなく、色々な仕事があり楽しいです。

結婚していますが、ろう者も仕事が出来、生活していけることをもっと社会が認めてほしい。自分が働くことで、ろう者の働く人が増えたら良いと思っています。ここでは皆同じなので働きやすいです。

休みはグルメめぐりに行ったり、趣味のカメラを持って出かけたりします。